

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

# 西部の国語科の未来へバトンをつなぐ



令和6年3月発行  
西部教育事務所

今回は、2月6日(火)に宿毛市立片島中学校で行われました、授業研究会の様子を紹介します。



西部管内の  
講座関係のHP

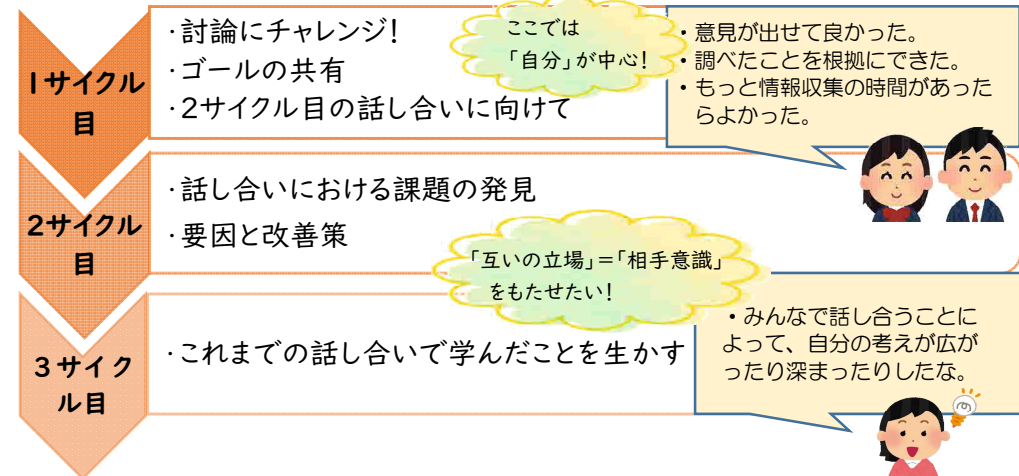
## 「話し合うこと」の指導における生徒の学びの自覚と教師の見取り

片島中学校では、教材研究会で参加者の先生方と出合った以下の改善点を受けて、単元構想を見直しました。

- ①自分の意見をただ言い合うと考えは広がるが、相手の意見を受けて反論等をしないと考えが深まらない。
- ②自分たちに足りないものに気づけるか。
- ③失敗したことに気づけるか。

その中で次のような問題点が見えてきました。

1サイクル目の話し合いで自分の意見が言えたことに満足している生徒を、どう引き上げたらいいだろう？  
付きたい力である「互いの立場を尊重しながら話し合う」とは、どういうことだろう？



### 生徒の力をどう引き上げる?

1サイクル目の話し合いです。生徒は自分の意見を出せたことに満足していました。そこで話し合いを振り返らせ、自分の意見を一方的に出し、立場の違う人の意見に対して反論をすることが、本当に「自分の考えを広げたり深めたりすることになるのか。」という視点を教師が生徒から引き出しました。

このことにより、話し合いをすることで多様な意見が聞け、自分の考えが広がったり深まったりするという「相手意識」が生徒の中に生まれ、付きたい力である「互いの立場を尊重しながら話し合う」とはどういうことなのかに繋がっていきました。



### 「互いの立場を尊重しながら話し合う」とは?

学習指導要領解説 国語編【A 話すこと・聞くことオ】に示されている「互いの考えを捉える中で見いだした共通点と相違点などを踏まえて話し合う」ことを考えるために、自分たちの話し合いの様子を記録した動画を見ながら、お互いの発言を検討したり、話し合いを円滑に進行したりできているのかについて話し合いました。

生徒は話し合いを振り返り、主張と根拠の関係、根拠の適切さ、それぞれの置かれた立場や意見の共通点と相違点を比べながら、話し合いの目的(考えを広げたり深めたりすること)に向けて、自分たちの話し合いのどこに課題があり、どのように改善していけばいいのかを具体的に考えることができました。



### 参加者の先生の声

- ・各学年でどのような姿が求められるかが今回の研修でこれまでより明確になった。今後はそのイメージを持って単元構想を練りたい。また力をどう見取るか、ICTの活用や文字に起こすことなどを取り入れたいと思った。
- ・系統性を明確にし、3年間を見通して指導する。1年間でどこまでもっていきたいかをイメージし、他教科と共に取り組みたい。